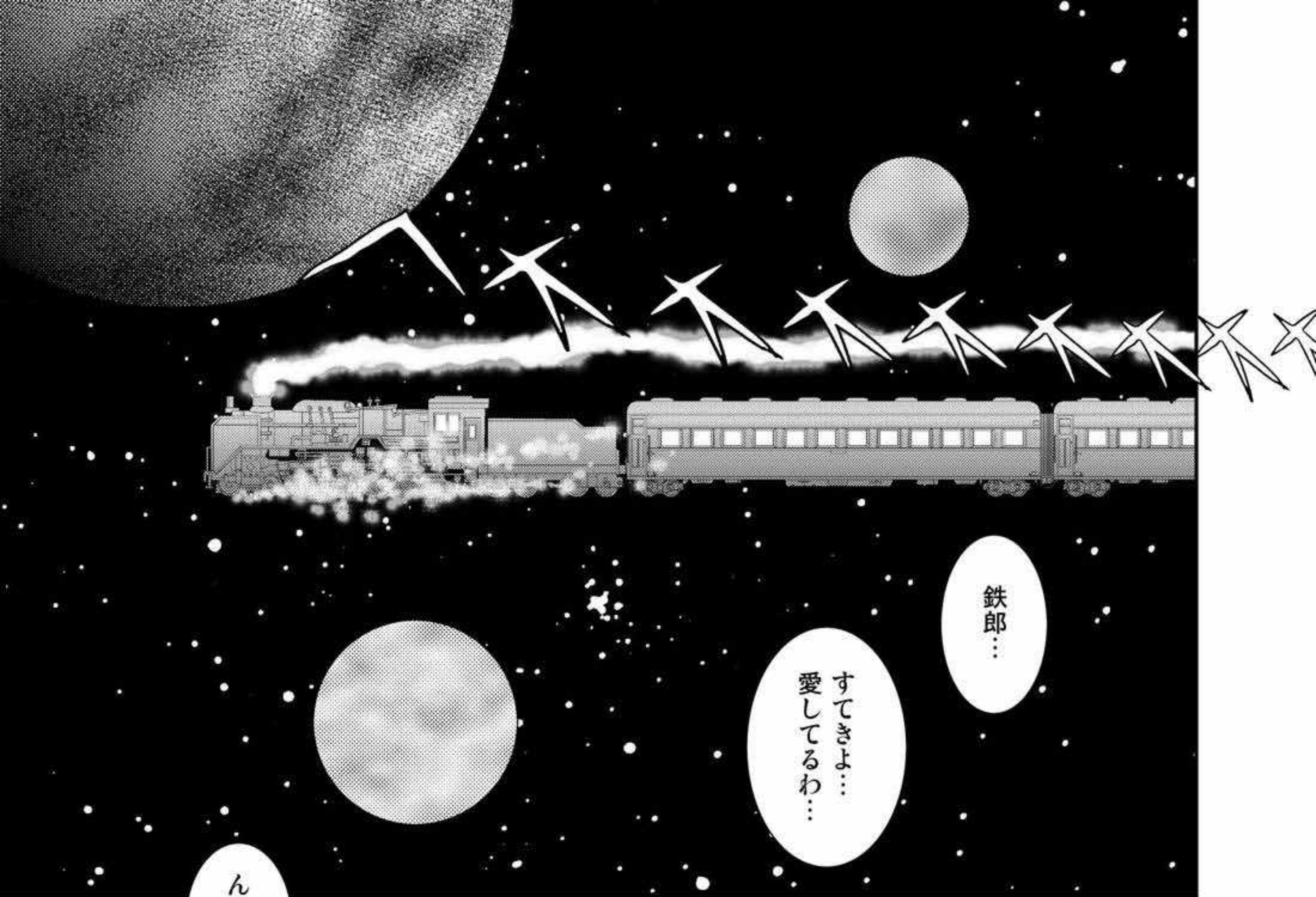


Maetel Story 17

from GALAXY EXPRESS 999 with Love







鉄郎…

すてきよ…
愛してるわ…

んんん…



メ…メ…テル…

ん…んん…
おいしいわ…
鉄郎の…チンポ…

鉄郎…
どう!?!…

う…うう…
気持ちいいよ…
メートル…

ハア

ハア

ハア

ハア

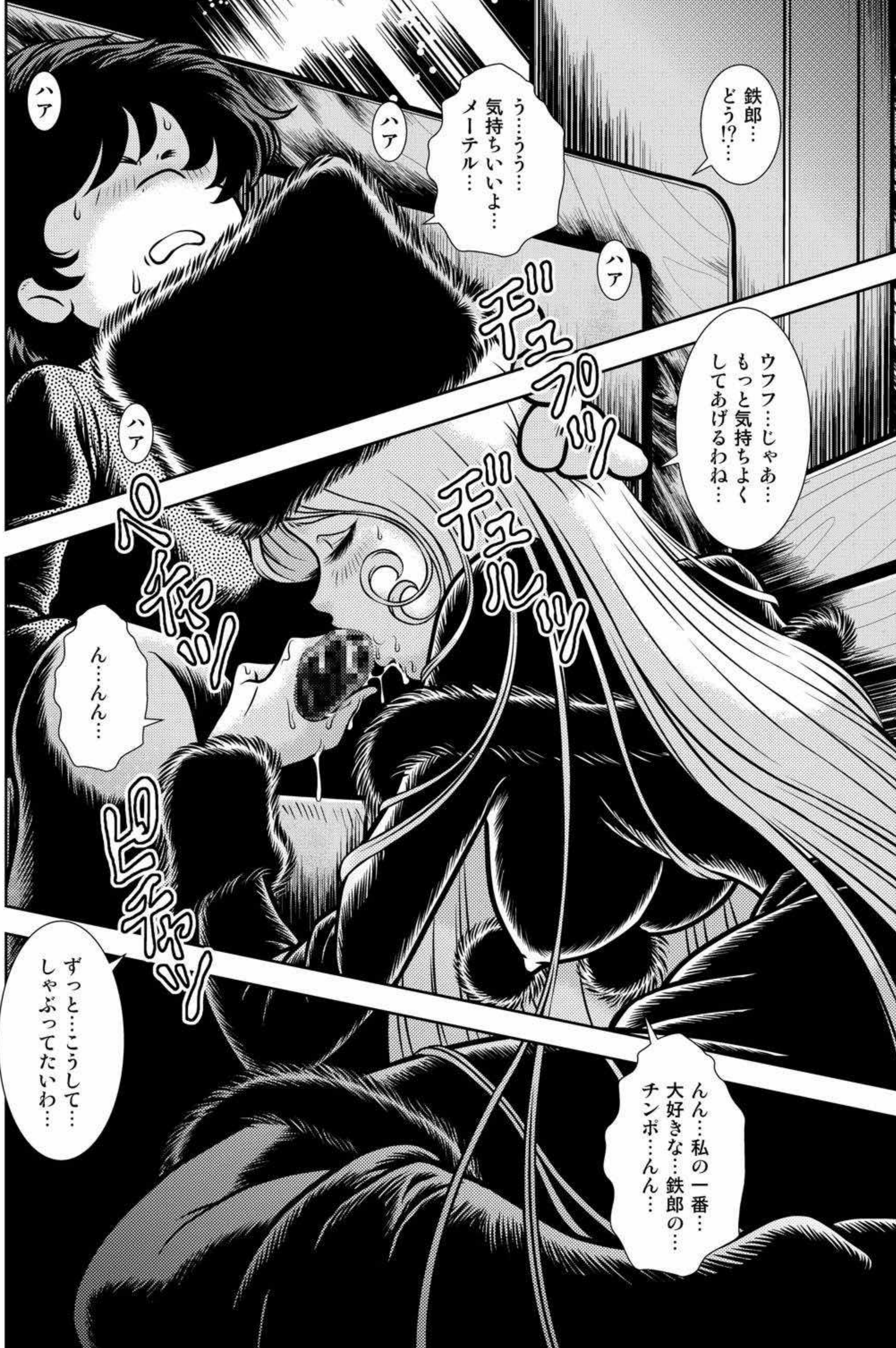
ウフフ…じゃあ…
もっと気持ちよく
してあげるわね…

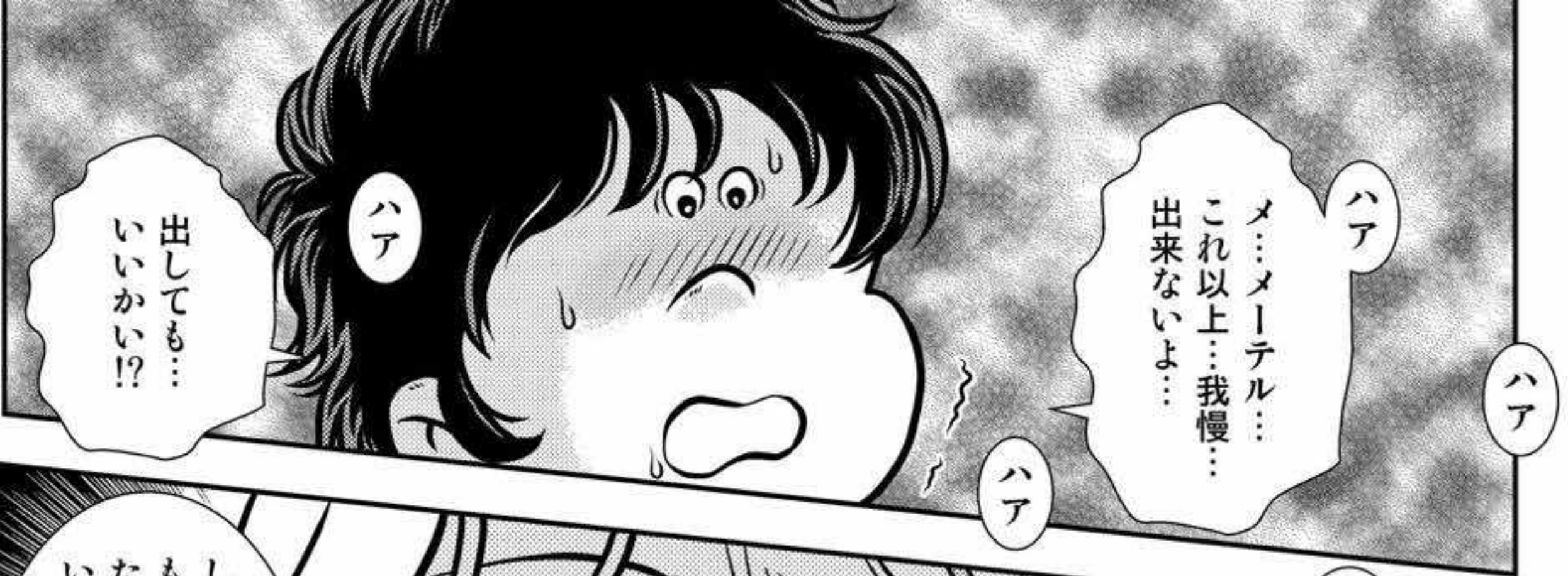
ん…ん…

ずっと…こうして…
しゃぶってたいわ…

んん…私の一番…
大好きな…鉄郎の…
チンポ…んん…

フェル
フェル
フェル





ハア

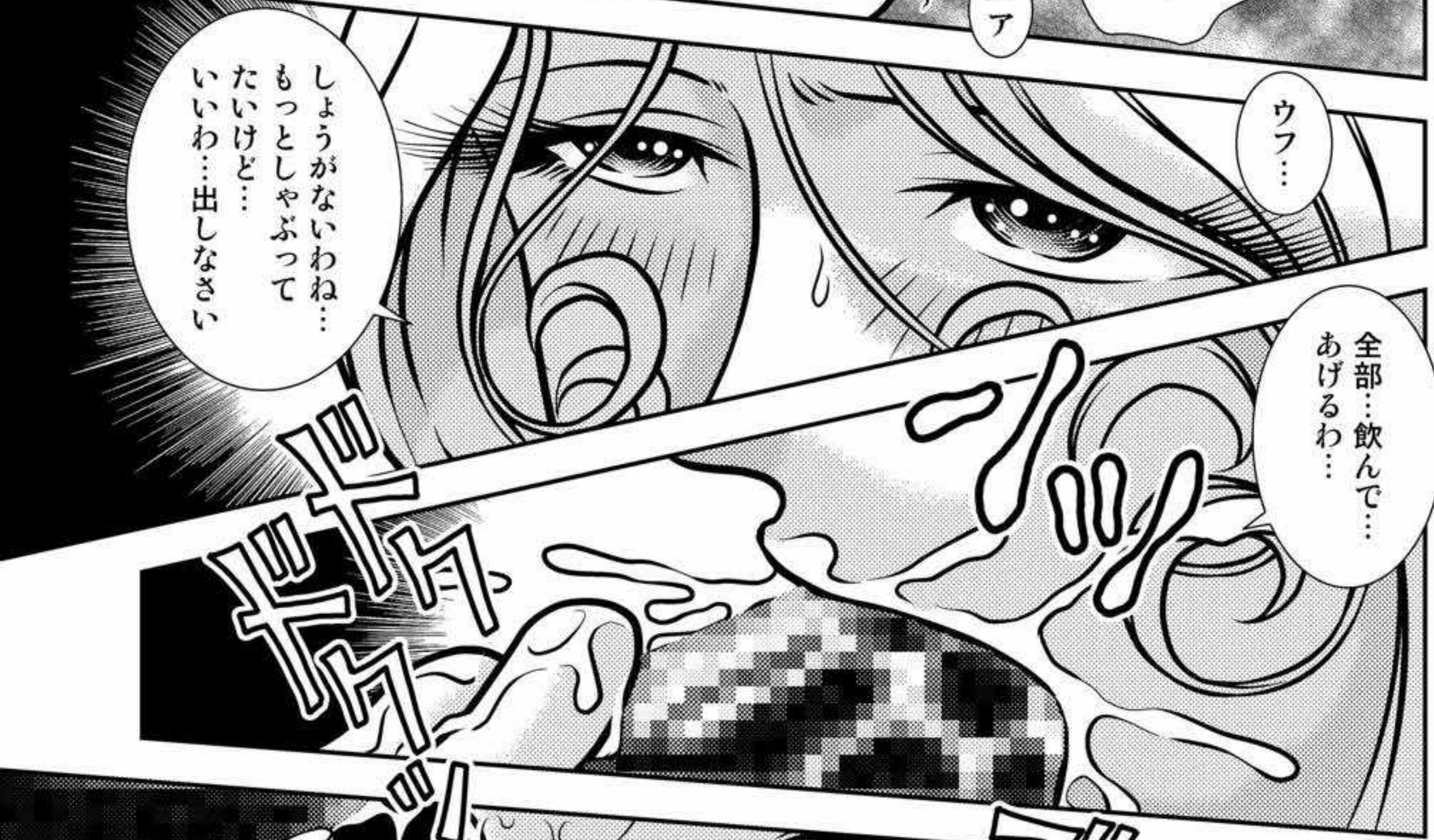
ハア

メ...メーテル...
これ以上...我慢...
出来ないよ...

ハア

出しても...
いいかい!?

ハア



ウフ...

全部...飲んで...
あげるわ...

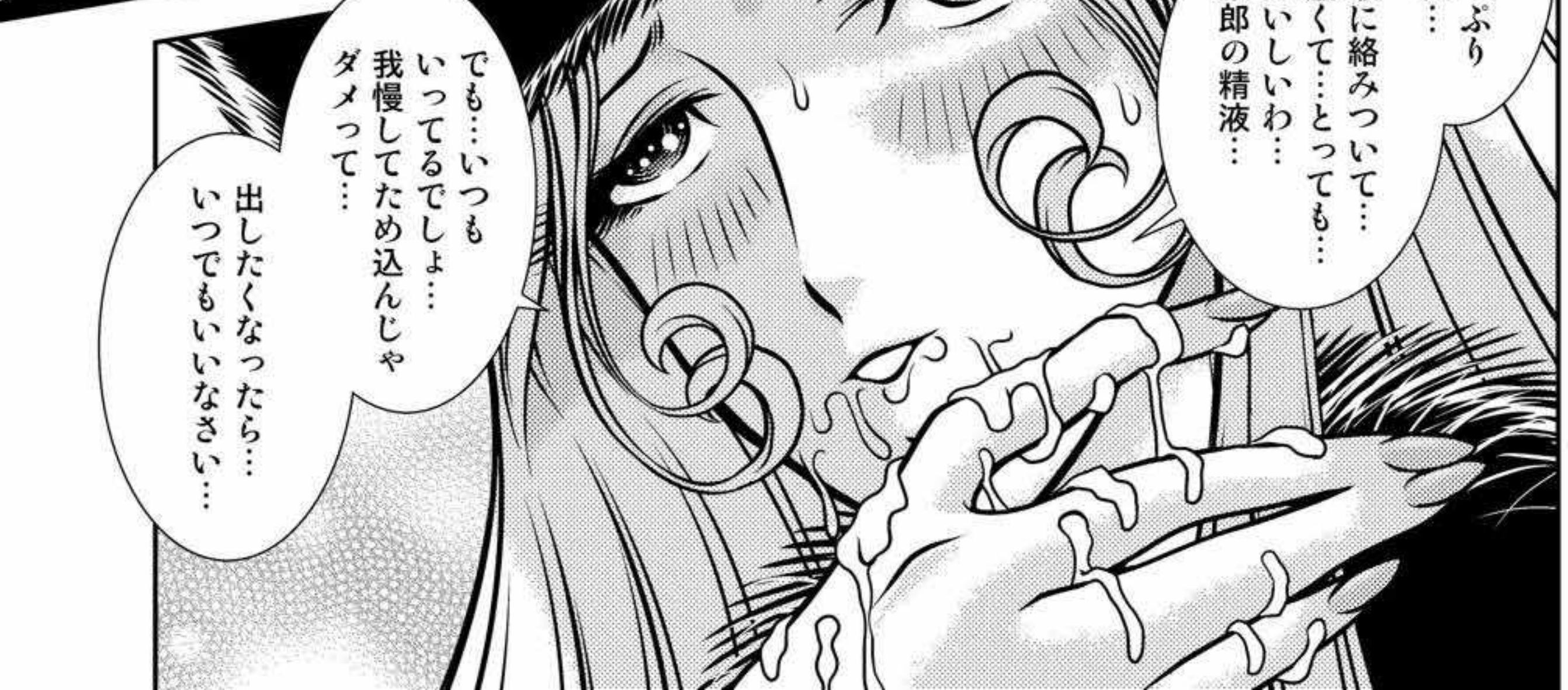
しようがないわね...
もつとしゃぶって
たいけど...
いいわ...出しなさい



ゴクゴク

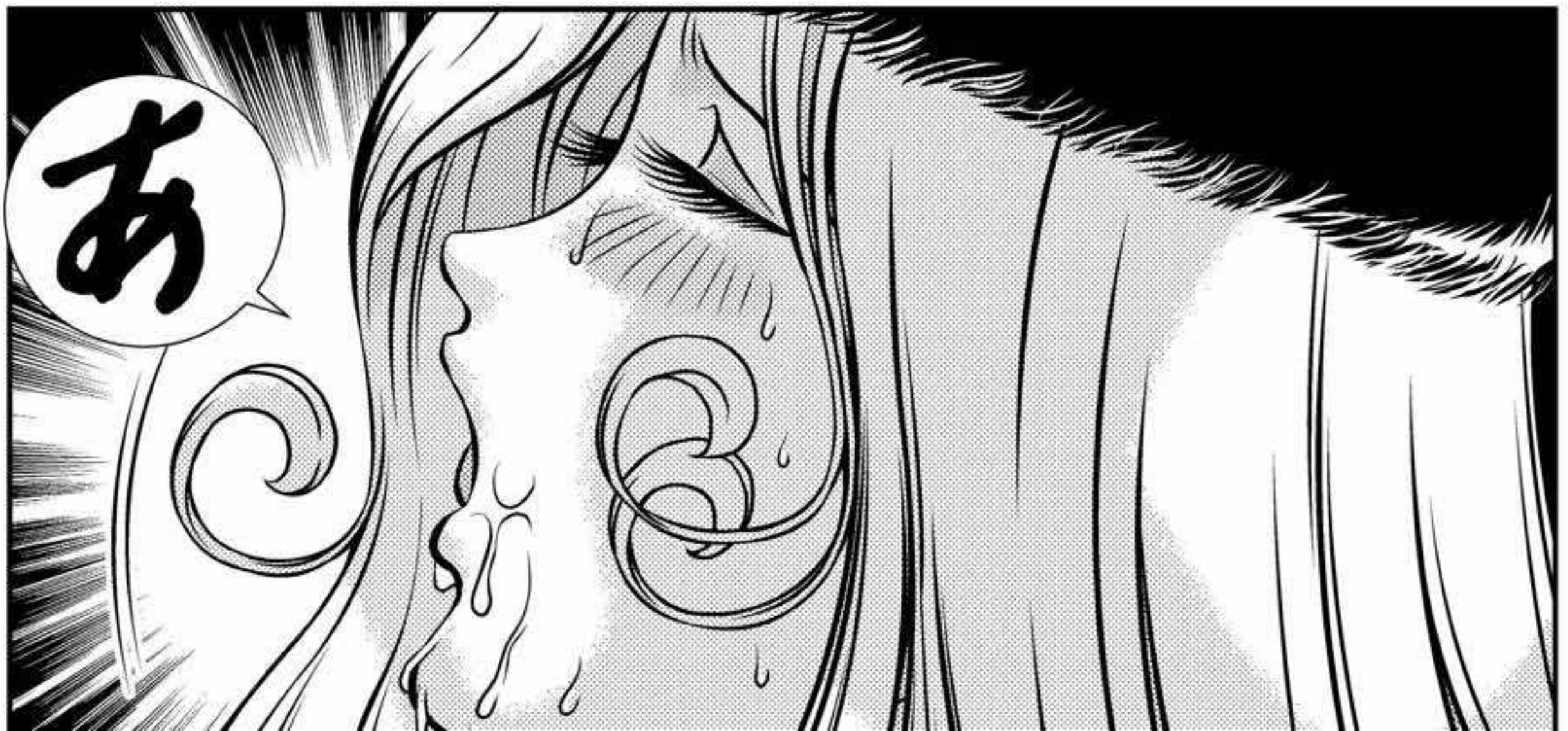
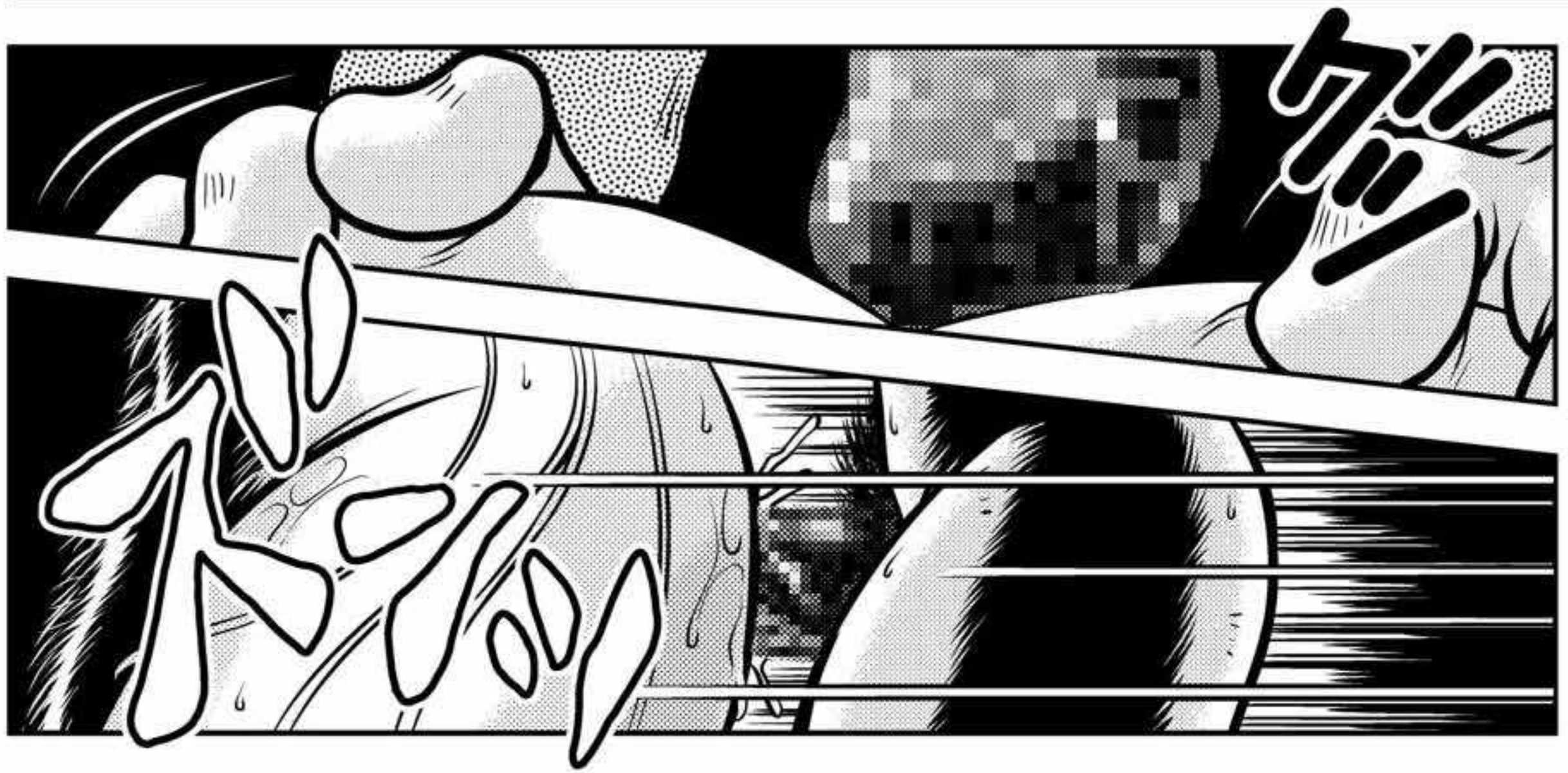
ふう...たっぷり
出したわね...

喉に絡みついて...
濃くて...とつても...
おいしいわ...
鉄郎の精液...



でも...いつも
いってるでしょ...
我慢してため込んじゃ
ダメって...

出したくなったら...
いつでもいいなさい...





ハア

あッ

ハア

ひッ!

ハア

ああッ

ハア

す...凄いッ!

ハア

ハア

はッ

いッ

て...鉄郎ッ
い...いいッ!

ハア

ハア

ヒイッ

ハア

あッ!

ハア

あ...ああッ...
あああああッ!

ハア

あ...あッ...ああッ
い...いいッ...いいッ!
鉄郎ッ...いいわッ!

アアンッ

ハア

ハア

もっとな...
もつと...激しくッ
突いてえええッ!

ハア

アアッ

ガッ

ガッガッ
ガッガッ
ガッガッ





あ…あひッ!
す…凄く…いいわッ
気持ち…いいッ!

ハア

ヒイ

ハア

い…いッ

ハア

ハア

アアツ

鉄郎ッ…
好きッ!

大好きよッ…

アッ

ハア

も…もう…
だ…だめ…

イクッ…
イキそう…

ハア

アンツ

ハア

アウツ

ハア



ハテ

フッ

う…
ううう…
メーテル…

ハテ



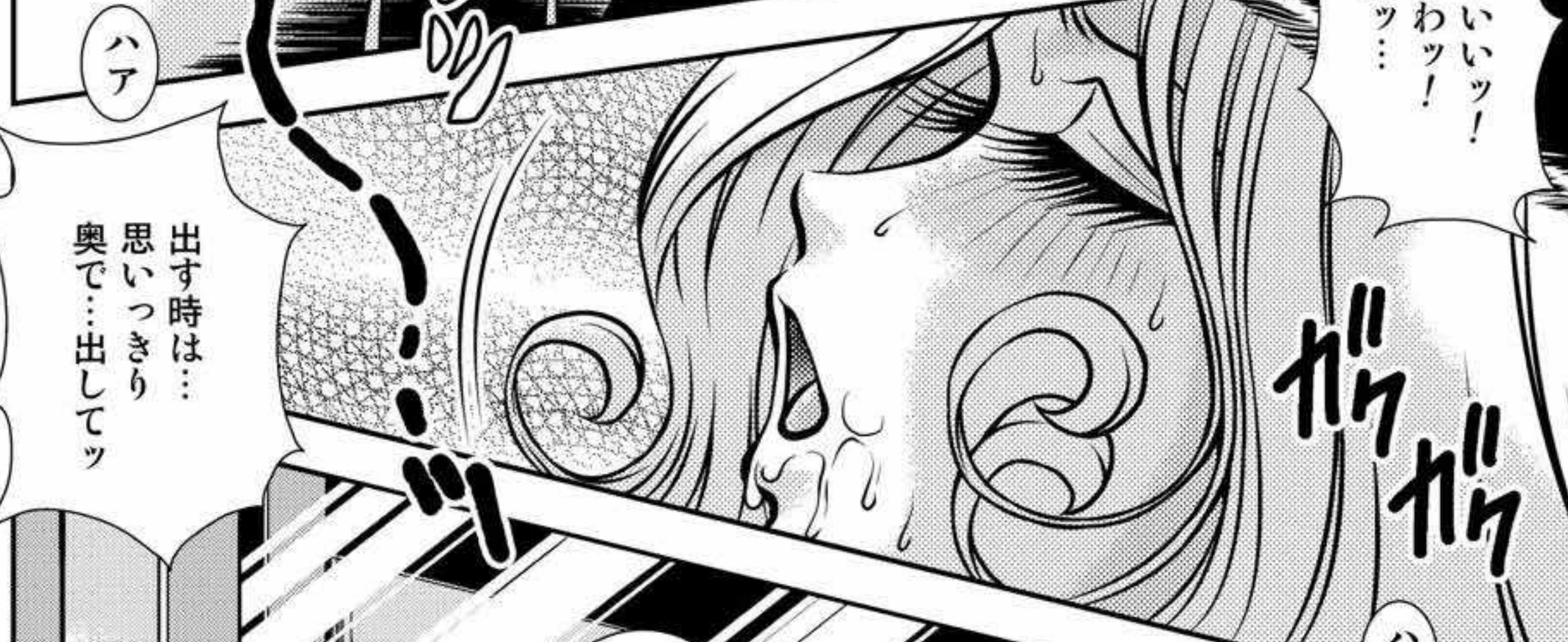
ハテ

フッ

フッ

ハテ

い…いいッ!
いいわッ!
鉄郎ッ…



ハッ

ハテ

出す時は…
思いつきり
奥で…出してッ



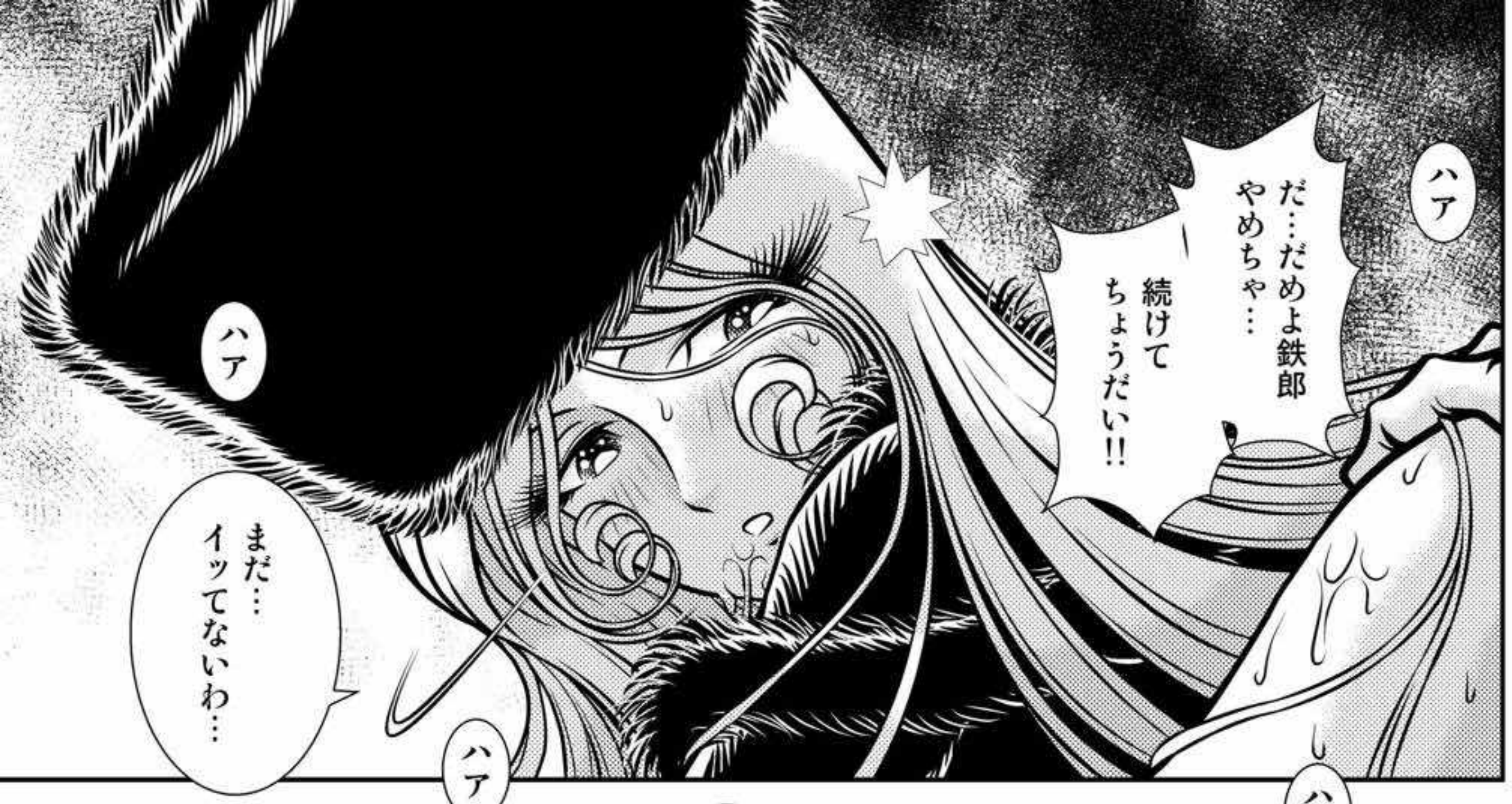
!

ハテ

も…もう…
イキそう…

ハテ

フッ



ハア

だ…だめよ鉄郎
やめちや…

続けて
ちようだい!!

ハア

まだ…
イツてないわ…

ハア

ハア



あらら
もう一台スライナイン999が
平行して
走ってるぞ!!

え!!

ほら!!

ハア

ほんとだわ
スライナイン999のマーク
までついてる

あれは…
過去の姿か
それとも未来の
姿かな…

ワープしたので
時間がややこしく
なったのかも
しれませんよ

あ!!

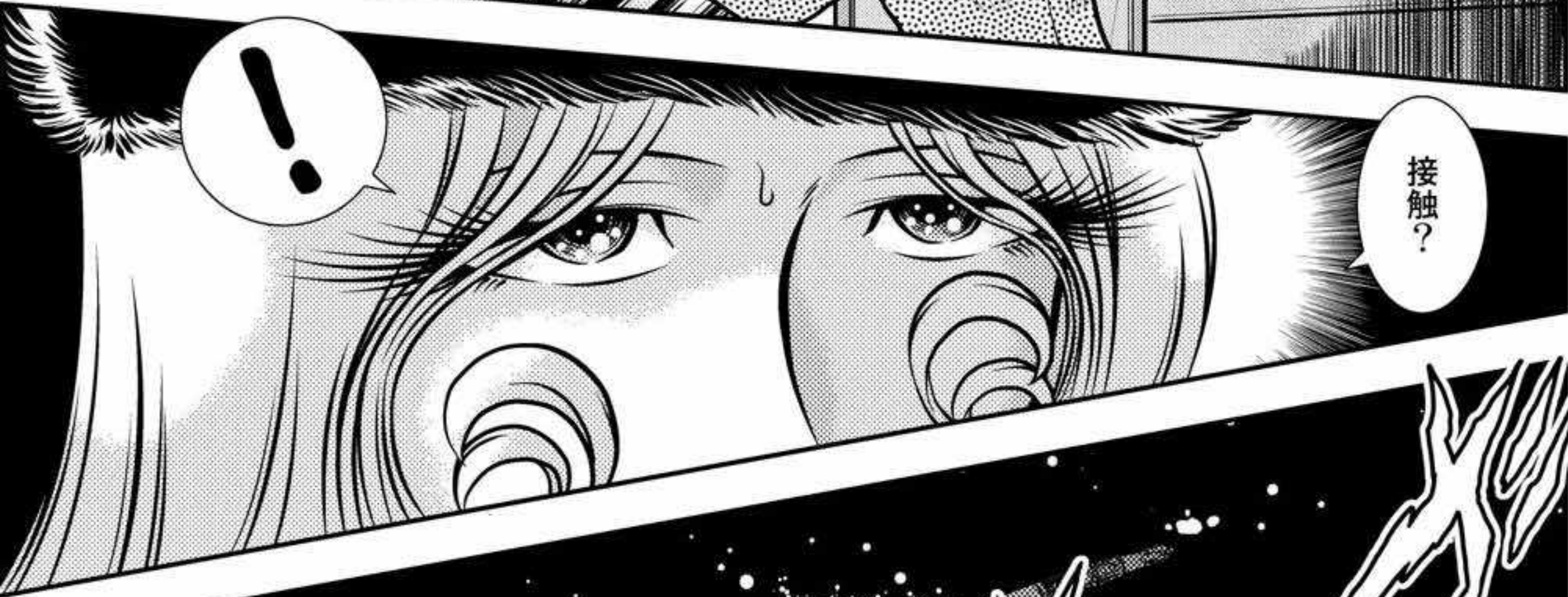
あれは
どう見ても
メーテルと…

あ



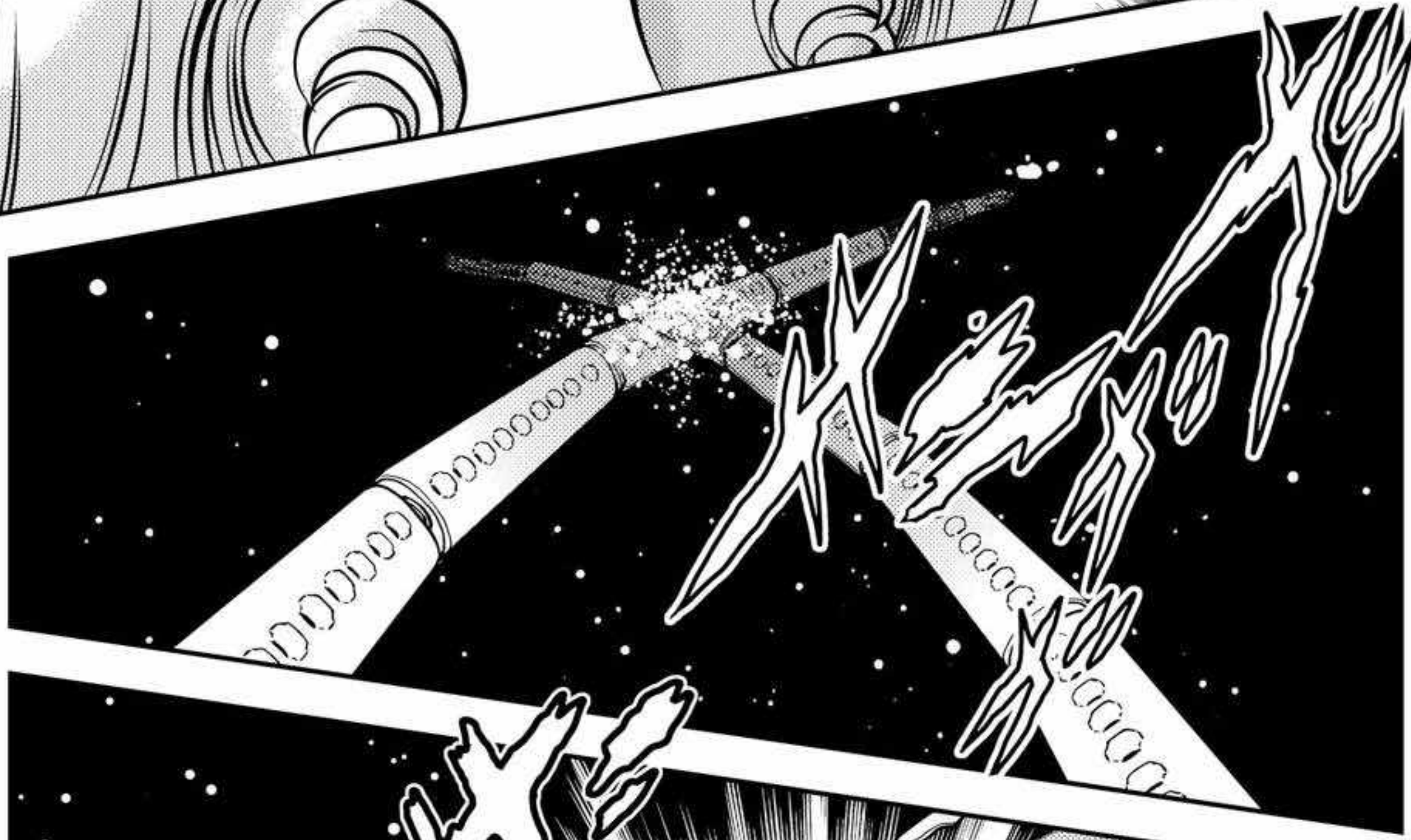
接触するよ

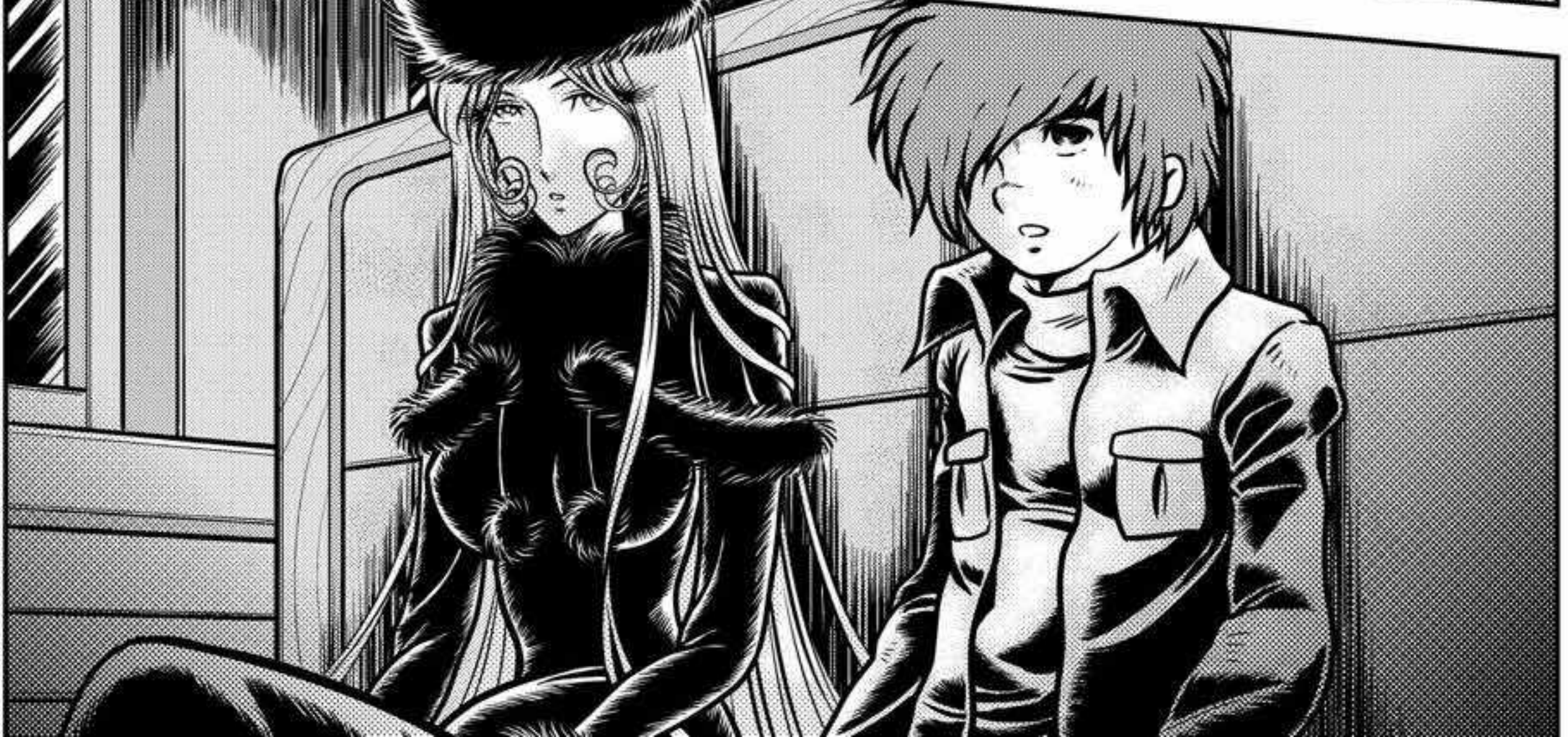
あ!!



!

接触?





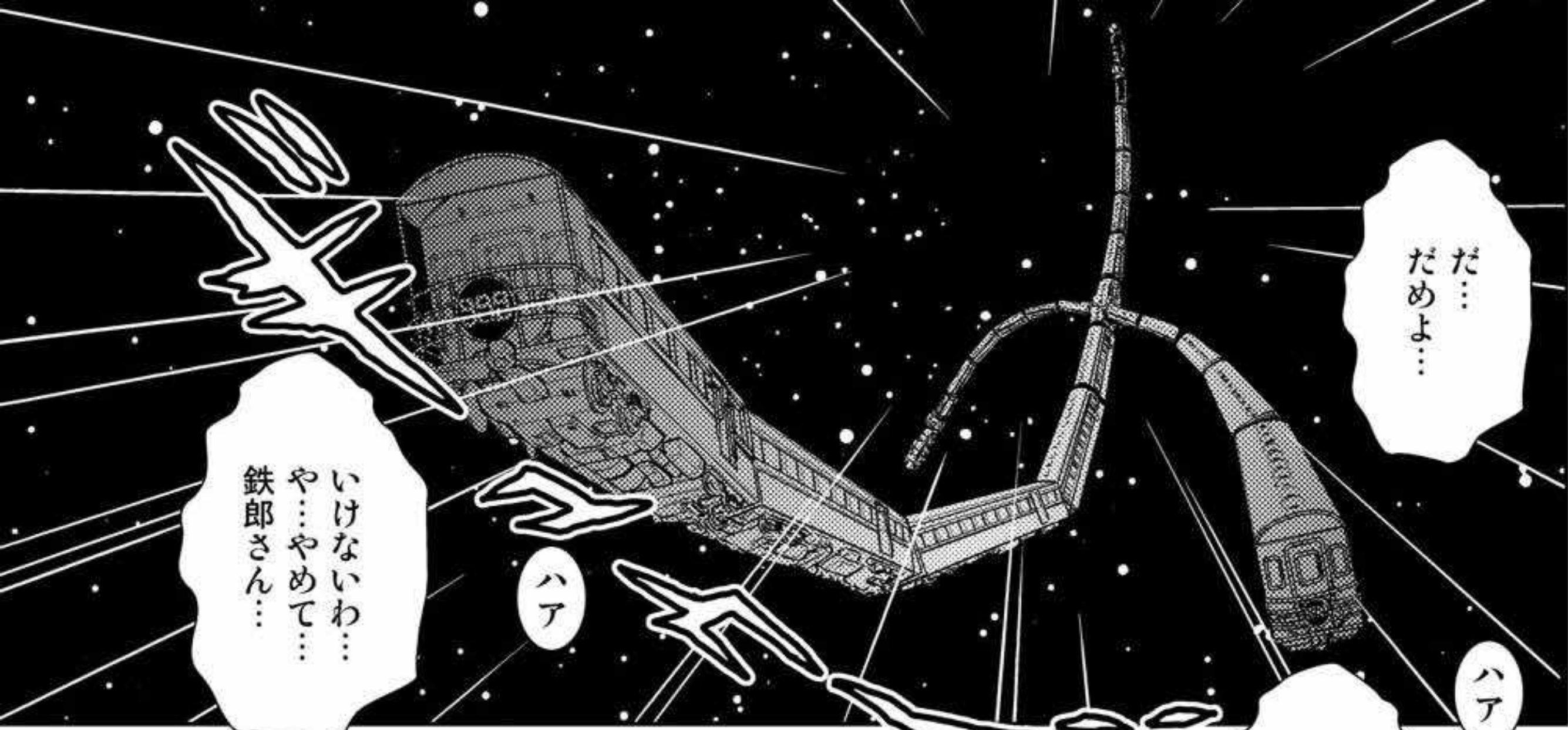


こんにちは
レドリル

あなたは...
メーテル!?

両方
メーテル

そうです



だ…
だめよ…

いけないわ…
や…やめて…
鉄郎さん…

ハア

ハア



私は…
あなたの…
メートルじゃ…

あ…ああ…
あん…ああん…

ハア

ハア



う…うう…
メートル…

ハア

ヒイ…!!



あ…ああ…
あああ…!!

さ…
さげちやうツ

お…
大きいツ!!

ハア

ハア



う……うう……
メートル……

ハア

ハア

ハア

ハア

ハア

アアッ

ハア

アヒッ

ハア

すごいや……
こっちのメートル……
締まりが……キツイや……

ハア

アアンツ

ハア

あ……ああ……
す……すごい!!……
これが……鉄郎さん……
もう一人の私が……
身も心も捧げた……
最愛の男……





ハテ

アアンツ

ハテ

レドリルとは...
違って... 太くて...
堅くて... 大きい...

ハテ

ハテ

それに...
おいしいッ!



ハテ

ハッ

だ...
だめッ

そ... そんなに...
激しく...
されたら... 私...

ハテ

ハテ

ハテ

ハテ

イ... イ...
イクウツ!!



メーテル…

…



抱いて…
レドリル…

私が欲しいん
でしょ…

もう一人のメーテルが
どんな味か…
知りたいんでしょ…

好きなだけ
味わっていいのよ…

ウフフ…

鉄郎が
あなたのメーテルと
楽しいんでるあいだ…
私たちも楽しみましょ

鉄郎が
何してるのか
わかるのかい？

ええ…
私は鉄郎に
身も心も…捧げた
女ですもの…

鉄郎のことなら
何でもわかるわ…

さあ
きて…

鉄郎のことだから
もう一人の私を
犯すことぐらい…

アーンツ!!

あ……ああ……
鉄郎さん……

ハア

ハア

いい……
いいわ……

ハア

ハア

とつても……
気持ち……
いいの……

ア……
ア……
ア……
ア……
ア……
ア……

ハア

ハア

う……
う……
う……

ハア

あ

ハア

ハア

ア……
ア……
ア……
ア……
ア……



あ…あん…
あああ…

ハア

ハア

ジュウジュウ
ジュウジュウ
ジュウジュウ

ハア

レドリルとは
違う味…

ハア

あ…あはあ…ん
鉄郎さんの…精液…
とっても…
おいしいです…

ハア

ハア

ハア

もう一人の私が…
夢中になるのもわかるわ…
こんなチンポで愛されたら
私だって…

も…もっと…
もっといっぱい…
飲ませてえ…

ハア

ハア

ハア

さあ…レドリル…
今度は…バックから
してちょうだい…

おもいつきり
奥まで…ねじ込んで
ほしいの!!

ハア

ハア

ハア

ハア

あ

うツ…

ハア

ハア

ハア

ブル

ハア





アアッ

ハア

ハア

ハア

アアッ!!
い...いいわッ
レドリル...

アーン

ハア

ハア

そ...そうよッ
その調子...
その調子で動いてッ!!

あなたのメーターと
くらべて...
どう私の味は!?

アアーン

ハア

ハア



どこの世界の
旅人か知らないけど
鉄郎!!

無事な旅を続けて
目的を果たせよ

おまえもな
レドリル
へこたれるなよ



じゃいくぜ
さよなら

さよなら
鉄郎:
メーテル:

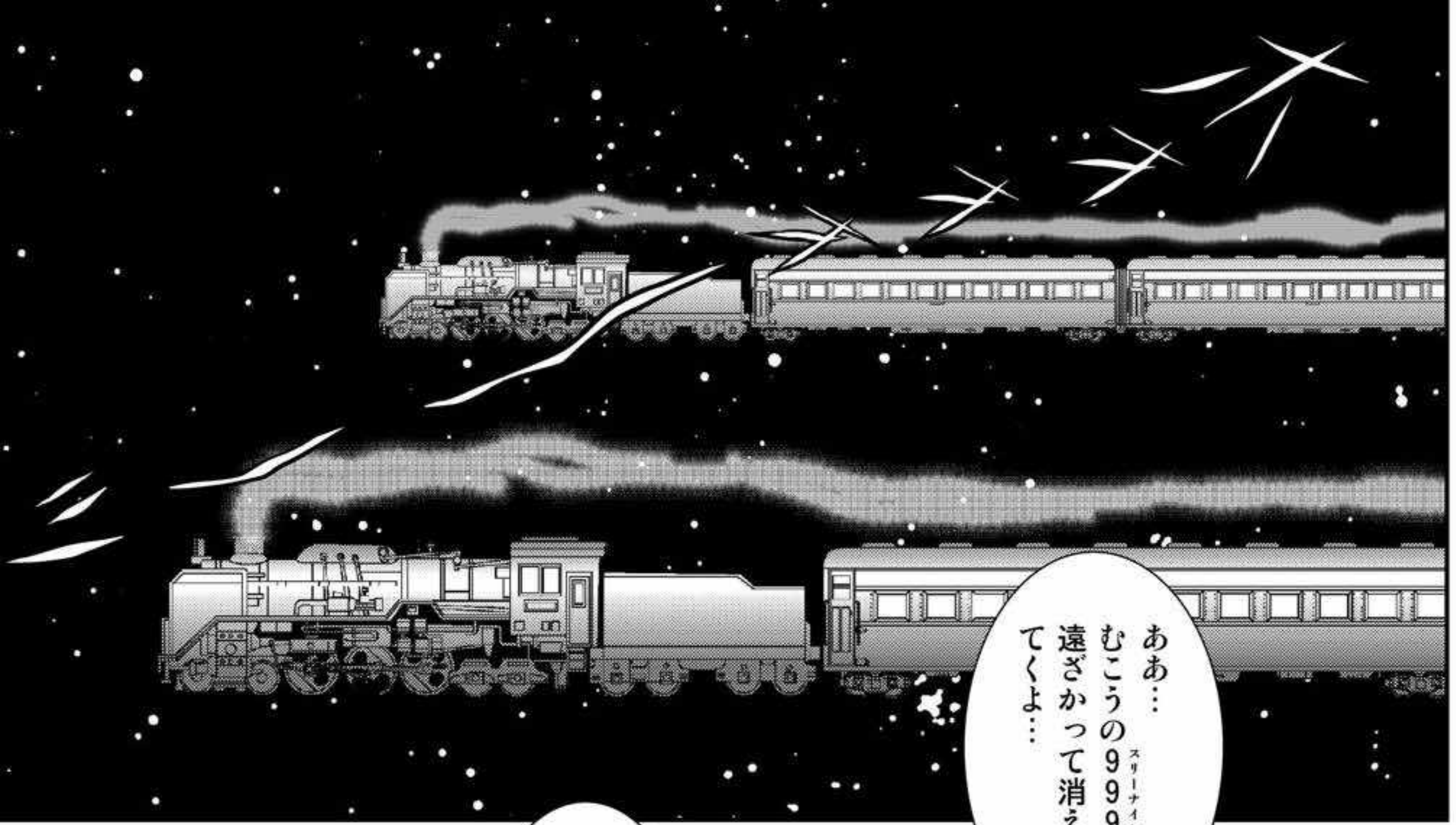


さよなら
もう一人の
メーテル:

おかしいな
こっちにもメーテルが
いるのに:

やっぱり別れるのは
悲しいや:

さよなら
鉄郎さん:
そして
もう一人の私:



ああ…
むごうの999が
遠ざかって消えて
てくよ…

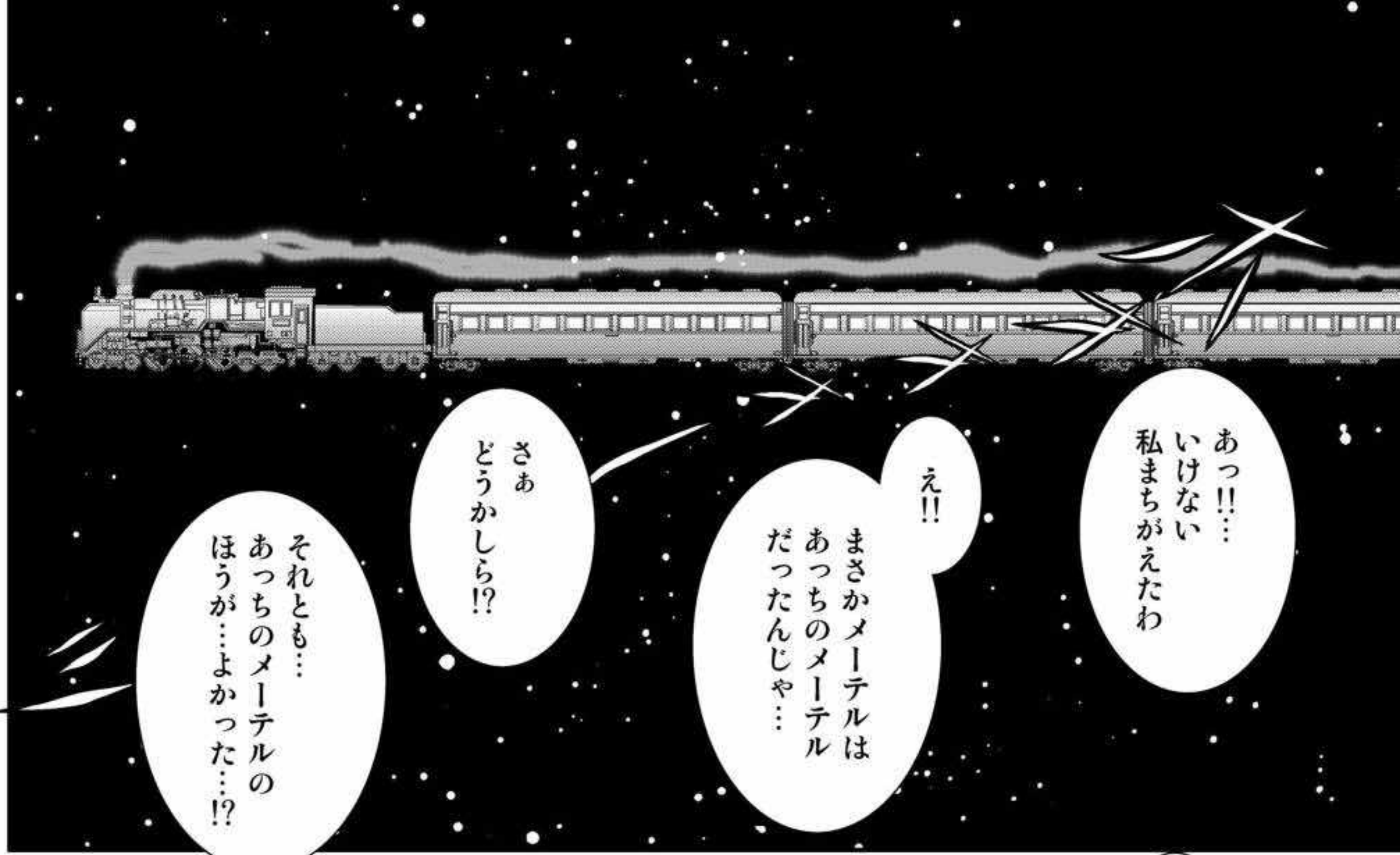


どこへ
行くんだらう…



え〜
たいへんながらく
ご迷惑をおかけ
いたしました

列車はまもなく
ワープ軌道をはなれ
銀河鉄道空間軌道に
もどります



あつ!!..
いけない
私まぢがえたわ

え!!

まさかメーテルは
あつちのメーテル
だったんじゃ..

さあ
どうかしら!?

それとも..
あつちのメーテルの
ほうが..よかった!?

でも..

もしかしたら..
あつちのメーテルと..

入れかわってるかも
しれないわよ..
鉄郎..

え!!

そ..そんな..
こまるよ..

メーテルは
ぼくのメーテル
じゃないと..

ウフフ…
じゃあ…

たしかめて
みる…!?

ト
口
三





鉄郎はメートルの
締めまり具合の心地よさを
味わいながら…
やはりそうなんだなと
しみじみと思った…
やっぱり…
はきなれたクツは
足にピッタリなんだと
感じるのであった…

EGYD

あとがき...

このたびはMaetelStory17をお買い上げいただき、
ありがとうございます。

本シリーズも今作で17作目と
なりました。

完成するまでに随分と
時間がかかりました。

ネタ作りは
すんなり出来た
のですが、
実作業を開始
するまでに
時間を要し
ました。

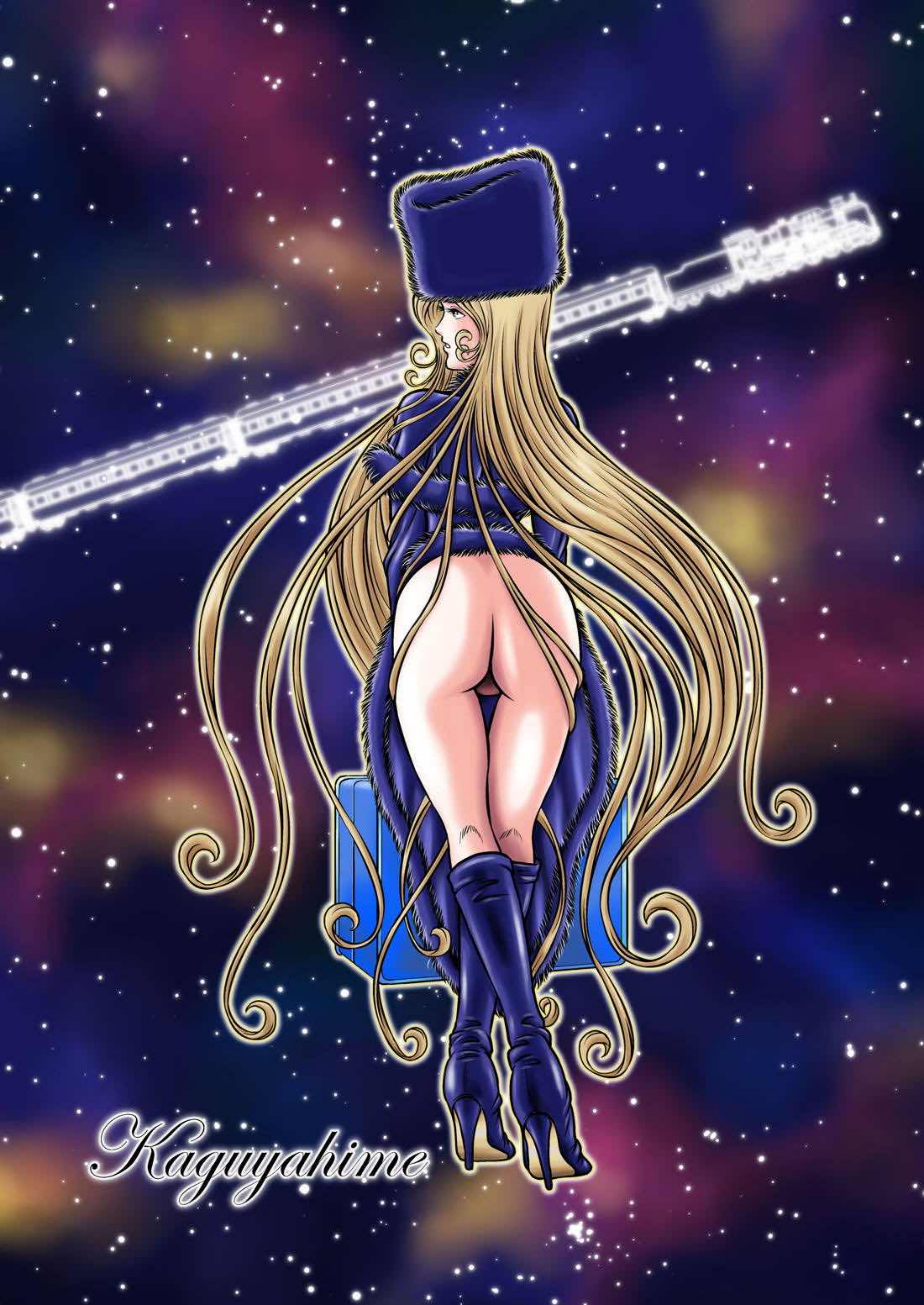
フルカラーを続けた
こともあり、
消耗した描く体力と
いいますか意欲が
なかなか回復しなくて、
重い腰を上げられずに
いました。

そんなこんなで今作は
少しでも作業時間を短縮
しつつ、リハビリをかねて
本編をモノクロでの制作と
しました。

それでも途中何度か中断を
挟みつつ、何とか完成に
こぎつける事が出来ました。

お待たせいたしました。
楽しんでいただけたら、
幸いです。





Kaguyahime